

＜新木場＞気になるスポット ヘリコプター初搭乗

森林商事株式会社
森 林 慎 介

生まれて初めてヘリコプターに搭乗しました。場所は皆様よくご存知の新木場四丁目にある東京ヘリポートです。ヘリコプターを漢字で表記すると螺旋翼機と書きます。

東京ヘリポートには、警視庁や東京消防庁の航空隊や民間の朝日航洋(株)や東邦航空(株)などがあり、災害救助、報道取材、移動、遊覧飛行、ドクターヘリ、免許取得などが行えます。今回我々が搭乗したのは、朝日航洋(株)の6人乗り(前列にパイロット一名と乗客一名、後列に乗客四名)ヘリコプターです。

最初に全員で格納庫に停まっているヘリコプターの前に行き、注意事項の説明を受けました。座席の位置、シートベルトの装着方法、緊急時に



注意事項の説明



着陸するヘリコプター



搭乗したヘリコプター



舞浜



葛西臨海公園



夢の島マリーナ



東京木材埠頭(15号地)



操縦席(コックピット)



丸太のない貯木場

必要なライフジャケットの場所と装着方法、ドアの開閉方法など。特に注意されたのは、運転中のヘリコプターの前後には絶対に近づかないということです。高速で回転するプロペラ(ローターという)に巻き込まれたり、風圧で転倒したり物が飛ばされたりするからです。手荷物を事務所に置くと耳栓と酔い止めの薬が用意されていました。いよいよ自分の搭乗時間になりました。今回私の座席の位置はパイロットの隣で車の助手席になります。係りの方が乗客全員のシートベルトの装着の確認を行い、ドアを閉めました。エアコンがないので機内は蒸し暑いですが、パイロットの方が飛び立つと風がはいり涼しくなりますよと教えてくれました。ローターの回転が速くなり離陸の合図が出るとゆっくりと機体が浮き上がりました。今回の飛行ルートは新木場から葛西臨海公園と東京ディズニーランド方面にまず行き、その後若洲、新木場、辰己方面を回りヘリポートに戻る約十分間です。

ヘリコプターはパイロットの肉眼で操縦するので、大雨、大風、曇り空など視界の悪いときや安全確保のできないときは原則飛行中止です。隣がパイロットなのでつつい話しかけてしまいましたが、嫌な顔をせず親切に答えてくれました。他のヘリコプターが離陸するので葛西上空でしばらく待機します。現在の高度は約100メートルです。これから新木場方面に移動します。後部座席の方はローターの音で二人の会話は聞こえません。パイロットの隣の席はVIPシートです。あっという間に10分間のフライトが終了しました。高所恐怖症の私でも怖さを感じませんでした。見る角度や高さによって見え方は変わってきますので、たまにはいつもと違う角度や高さから物を見たりして発想の転換が必要だなと感じました。最後に材木屋としては貯木場に一本も丸太が浮いていないのは寂しい限りです。

(ヘリコプターによる上空からの湾岸現況観察 主催 東京木場製材協同組合)